

黒川通信

4月16日から再開しました！！

遅れていた桜の便りも聞かれるようになり 待ちに待った春がやってまいりましたが、皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

冬の間は一面真っ白だった現場も雪解けが進み春の訪れを実感できるようになりました。安全を確保するため少しの間お休みしていた作業も4月16日より再開しました。まだまだ寒の戻りもあり、体調を崩しやすい季節の変わり目です。お体には十分気を付けて農作業に、山菜取りに、そして行楽に清々しい春を満喫したいものですね。

砂防堰(えん)堤って何？

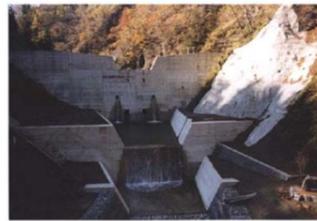
たくさんの山の土や砂が水とまじって流れ出す土石流を、防ぐための施設です。砂防堰堤は、川の上流につくられ、下流に住む人々を守ります。

砂防堰堤がないと・・・土石流が川底や山腹の斜面の地盤を削って雪だるまのようにふくらみながら高速で下流を襲うので住宅や田畑が壊滅状態になってしまいます。

砂防堰堤にはどんなものがあるの？

砂防堰堤には大きく分けて不透過型と透過型があります。今回の黒川第4砂防堰堤は不透過型と呼ばれるものです。

不透過型



コンクリートで作ったり、鋼製の籠に石を詰めるタイプやブロックを組み合わせるもの等があります。

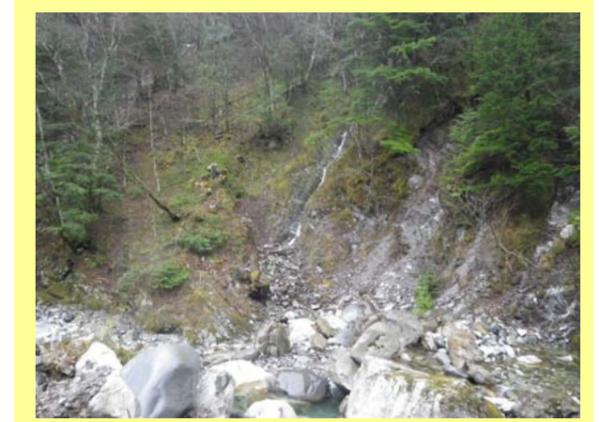
透過型



間に隙間があるタイプや鋼製の枠などで土石流を食い止めます高低差が無いので魚などが自由に行き来できる利点があります

黒川第4砂防堰堤工事現場今の様子

4月12日 現場の雪もほとんど解け緑が色濃くなってきました。いよいよ作業再開です。

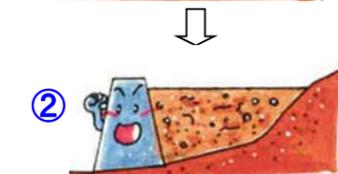


こんにちは監理技術者の竹澤です

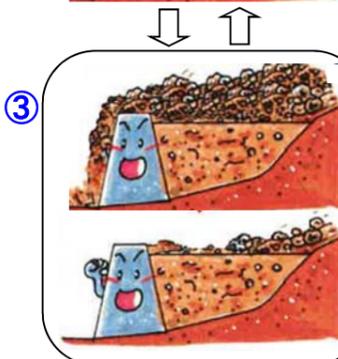
今回、監理技術者として技術管理を担当している竹澤です。長年、箕輪町周辺での工事が多かったため、宮田村での仕事に新鮮な気持ちと意欲を掻き立てられています。個人的には温泉・観光でよく来ており、この機会にしばらく休んでいた渓流釣りやトレッキングのコースも開拓しようと考えております。良い情報がありましたらご連絡をいただければ幸いです。親しみがあり素晴らしい自然環境の宮田村の安全性を向上させるために持てる力を如何なく発揮し工事を完成させたいと思います。ご迷惑をおかけしますが、ご協力を宜しくお願いいたします。



① 上流から流れてくる土砂を溜め込み、下流に流れ出るのを防ぎます。



② 溜め込んだ土砂によって川底の傾斜がゆるやかになるので、次の大雨で流れてくる土砂の勢いを弱め、一気に下流に流れ出るのを防ぎます。



③ せき止めた土砂が大量に溜まっても、少しずつ下流に流れていくのでやがて②の状態に戻ります。

それでは次回をお楽しみに。
今回はトンネルについて 紹介します。

第3号 平成24年4月発行
発行者 浅川建設工業株式会社 次回は6月にお邪魔します

浅川建設工業株式会社
長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪11363-1
現場代理人 石黒 敦 090-3236-0507 まで
監理技術者 竹澤 広秋
現場技術者 村澤 雅樹 本社 TEL 0265-79-2218
FAX 0265-79-9156